

a 学校教育目標	ふるさとを愛し、鍛えよ『知・徳・体』	b 経営理念(ミッション・ビジョン)	【ミッション】(自校の使命) ○社会のために役立とうとする志を抱く生徒の育成 【ビジョン】(自校の将来像) ○主体的な学びが育まれる学校 ○夢や志があり、誰もが通つてみたい学校 ○地域の活力の源として信頼される学校
----------	--------------------	--------------------	--

評価計画					自己評価						改善方策		I 学校運営協議会 評価		
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成の方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10月	1月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	改善方策	評価		コメント		
					h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ		
確かに学力	主体的・対話的で深い学びの創造	主体的な学びに向けた授業づくり	○小・中の教員が一体となった教育研究の推進 ・教員のファシリテート力の向上 ・R80を核とした授業デザイン力の向上 ○実力テストや生徒アンケートに基づく授業改善 ○デジタル指導書やクロームブックの効果的な活用	生徒アンケート「授業の内容がよくわかりますか」に肯定的回答をした生徒の割合	85%	87.3%	100.0%	A	今年度は、「学力定着に向けた一授業時間の展開～R80を核とした授業デザインを通して～」を研究テーマとして、授業研究を全教科で実施した。 生徒アンケート「授業の内容がよくわかりますか」に肯定的回答をした生徒の割合は87.3%と、約9割の生徒が授業がよくわかると回答している。	引き続き、本校の研究主題に沿って1人1授業研究を進めていく。また、全国学力・学習状況調査の結果の分析結果をもとに、定期試験で課題と同じような問題を出題し、定着の度合いを上げる。 また、久井中ノート(自主勉)、新研究(問題集)を引き続き取り組ませ、ドリルバークやeボードなどのデジタルコンテンツの有効な活用も引き続き推進し、学力向上に取り組む。	○			学校での授業や家庭学習の充実を図り、主体的な学びができるようにしてほしい。	
				実力テスト(年間2回実施)の各教科の平均点が右肩上がり	80%	<各学年全教科平均> ①307.4点 ②196.9点 ③248.0点	-	-	1.2年生は1回目の実力テストであった。1年生は、5教科の平均が307.4点と高かった。2年生は、5教科の平均が196.9と200点を超えていない。3年生は全国との差が+10.2(1回目)から、+10.4(3回目)と少し上がっている。総合的にみると、学年によって学力の差があり、2学年については、学力に大きな課題がある。	授業後の振り返りを全教科で実施し、学習のつまずきや理解度を把握することで授業改善につなげる。学習のやり方のノウハウを指導し、家庭学習の質を高める。また、教師は問い合わせの設定を工夫し、思考を促す授業を展開する。生徒理解・C層の生徒への支援の観点から研究授業の参観と事後協議を実施する。また、全学年、曜日ごとに5教科で課題を出し、家庭学習の定着を図る。	○			学力向上に向けて、引き続き、C層の生徒への支援を工夫してほしい。	
	家庭学習の充実	○久井中ノートの効果的な活用・内容の充実 ○家庭学習の習慣化、量(時間)の増加・質の向上	生徒アンケート「家庭での学習時間(1週間の平均)」が1時間以上の生徒の割合	80%	<全体> 52.1% ①37.5% ②43.8% ③67.7%		65.1%	C	生徒アンケートから、各家庭での学習時間が1時間未満の生徒が半数程度いる。また、学年が上がるごとに、家庭学習時間が増加していることわかる。3年後の進路実現を見据えて中1から家庭学習の充実に取り組む必要がある。合わせて、「ゲームや動画視聴を1日に2時間以上している」生徒が67.6%いることも課題としてあげられる。	全学年で、5教科の課題を毎日出す取組をはじめた。同時に、各教科の授業において、質と量の両面での家庭学習のやり方を指導していく。また、「家庭でゲームや動画視聴に関するルールは決めていない」と回答した生徒が53.5%いることからも、保護者への啓発や連携も密にしていく。	○			スマホ・動画の視聴時間を制限し、家庭学習と睡眠の確保をしてほしい。	
豊かな心	自己肯定感が高い心豊かな子供の育成	不登校の未然防止 地域貢献意識の向上	○SSRを核とした不登校対策、相談体制の充実 ○「生徒指導実践上の視点」に基づく教育活動の展開 ○生徒会活動の活性化(自治能力の育成) ○自主参加による地域ボランティア活動の充実	生徒アンケート「学校行事への満足度」の肯定的回答の割合	90%	97.2%	100.0%	A	「学校行事にまったく満足していない」と回答した生徒は0人だった。生徒は学校行事に魅力を感じ、積極的に参加していることが分かる。生徒アンケート「自分を向上させるためにがんばっています」88.7%、「自分は、まわりの人から認められていると思います」81.7%、「自分には、よいところがあります」85.9%という結果からも、自己肯定感がある程度育っている。	これからも生徒会執行部を中心に、魅力ある学校行事を創り上げていく。 「まわりの人のよいところを探すことができました」と回答した生徒が98.6%と高い。引き続き、お互いの良さを感じとるような道徳の授業や学校行事を仕組んでいく。	○			生徒間の仲の良さや、学級の雰囲気の良さを感じた。居心地のよい学級風土が子供たちにとっては一番いいと思う。	
健やかな身体	体力向上と基本的生活習慣の育成	体力づくりの充実 健康教育・食育の推進	○9年間を見通した体力づくり ○体力テスト結果で明らかとなった課題克服に向けた具体的な運動の実施・推奨 ○「金のルール」等に基づく生活指導(早寝・早起き・朝ご飯・正しい食生活への関心の向上)、保護者啓発	「体力・運動能力調査」で全国平均を上回った種目数	15種目	8種目	53.3%	D	8種目しか上回ることができなかった。男女ともに上回ったのが、長座体前屈とボール投げである。反対に、上体起こし・20mシャトルランについては、男女とも県平均より低いため、筋力、持久力に大きな課題がある。	保健体育の授業において、単元に即した補強運動を継続的に取り入れていく。また、クロムブック等を積極的に活用して自分の動きや記録を振り返る活動を取り入れていく。 また、運動部においても、部活動前後において、持久力を高める運動を取り入れて持久力の向上を図る。	○			基本的生活習慣を守り、体力・運動能力をつけてほしい。	
開かれた学校	地域と協働した教育活動の展開(コミュニティ・スクールの推進)	郷土愛の醸成 地域全体で子供たちを育てる体制づくり	○COSの理念や意義の周知・啓発、積極的な情報発信 ○運営協議会・協働本部・活動推進員による取組推進 ○施設一体型連携校としての強みを活かす取組づくり ○地域と協働した防災や交通安全等の教育活動の実施	生徒アンケート「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」に肯定的回答をした生徒の割合	85%	87.3%	100.0%	A	生徒アンケート「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」において約9割の生徒が肯定的回答をしている。このことから、地域のボランティア活動に参加し、地域のために貢献しようとする生徒が多いことが分かる。また、今年度の「久井！さわやか高原祭り」には、ボランティアとして66%の生徒が参加した。 コミュニティ・スクールとして、授業や学校行事を地域と共にを行い、充実したスタートがきている。	学校運営協議会等で、地域からの評価をいただくことで、その結果をもとにPDCAサイクルで取り組んでいく。 また、引き続きコミュニティ・スクールとしての取組をより一層推進し、地域の人材や教材を有効に活用した授業や学校行事を行っていく。	○			学校運営協議会での学校からの説明や生徒アンケート結果を受けて、自分が住む地域の中で、何かしら活動をし、役に立ちたいという子供たちの気持ちが嬉しい。	
働き方改革	風通しの良い職場づくり ワークライフバランスの確立	不祥事根絶 長時間勤務の縮減	○教職員の資質向上に向けた積極的な研修・研鑽 ○ヒヤリ・ハット事業の洗い出し・共有化・即時対応 ○時間外時間の管理(45時間/月)、定時退校日の徹底 ○ボトムアップによる業務改善、働く者の意識改革	保護者アンケート「本校の教育活動に満足している」の肯定的評価の割合	85%	88.5%	100.0%	A	目標より3.5ポイント上回る評価であった。今年度は、保護者だけでなく地域に向けての学校行事等の情報発信を行つたことで、学校に来校して下さる方が増加したことも成果である。	引き続き、本校の教育活動に満足していただけるよう、学校だよりやぐーる等を通して、生徒の成長の様子を積極的に発信し、保護者が学校の様子をより理解しやすいよう努める。	○			学校に伺うと、子供たちはもちろん、先生方がいつもきちんと挨拶をくださるので、気持ちがよい。	
				時間外の在校時間が月45時間以内の職員の割合	85%	71.4%		B	常勤教職員14名の4月から9月末までの在校時間45時間以内の割合が71.4%であった。前年度の同時期(57.1%)に比べ、14.3ポイント向上した。	業務の削減と効率化を図り、業務分担の見直しを進め。また、部活動においては超過勤務の要因となっている現状を踏まえ、複数顧問の場合には交代で休養日を設ける。	○			教職員の皆さんには、体調管理には十分気をつけて頑張ってほしい。	

【j : 自己評価 評価】

A : 100≤(目標達成)

C : 60≤(もう少し)<80

B : 80≤(ほぼ達成)<100

D : (できていない)<60

【I : 学校運営協議会 評価】

イ:自己評価は適正である

ロ:自己評価は適正でない ハ:わからない